

ヴァンパイアセイヴァー新規勢募集

文責：錦糸町民

はじめに

『ヴァンパイアセイヴァー』というゲームをご存知だろうか。15年以上もの歴史を持つ2D格闘ゲームである。まさに不朽の名作、稼働から長い年月を経た現在でも現役という化け物と言うにふさわしいゲームだ。

そして、2013年3月14日、『ヴァンパイアセイヴァー』は前作である『ヴァンパイアハンター』と共に『ヴァンパイアリザレクション』としてHDリメイクされたのだ（ハードはPS3/Xbox360）。このゲームを始めるなら今がチャンス。我々はヴァンパイアセイヴァーを新しく始めようとする老若男女全てを歓迎する。

とはいえ、いきなり「ヴァンパイアセイヴァーっていうゲームが面白いからやろう」と言われてもイメージがわからないだろう。そこで、このゲームの魅力について説明することにする。

ヴァンパイアセイヴァーってどんなゲーム？

ダークストーリー、つまりは化け物達が殴りあうゲームである。先程の「化け物のような」とは単なる比喩ではなく、文字通りの意味もあったり。世界観もよく練られているので興味があれば攻略本と言う名の設定集を貸すので読んでみて欲しい。

では、ゲーム性について紹介しよう。このゲームはとにかく速いし早い。ゲームスピードの速さがよく話題に上がるゲームだ。純粋にキャラの動きも速いのだが、駆け引きのスピードや試合時間そのものも含めて何もかもが「はやい」。

そして、「展開が早いゲームだよ」と言うと「もしかして難しいゲームなのでは」と思う人がいるかもしれないが、そんなことはない。覚える事自体は格ゲーの中でも少ない方である。コンボとアドバンスガードを覚えればとりあえず「それっぽい」動きはできるという非常に素晴らしいシステムなのだ。これらのシステムについては後ほど簡単に紹介しよう。後はキャラごとに覚えるべきことをちまちまやれば割となんとかなる。やってみると分かるのだが、システムが本当に上手にできていて常に何かしらの読み合いが起きているので、操作していて暇だなーと思う時間が無い。コンボの短さも相まって、退屈という言葉とは無縁なゲームだ。

キャラを動かしている時の面白さも格別である。登場人物は1名を除いて人外なので、人間離れした動きが沢山ある。自分の首を切断して相手を攻撃したり、自分の骨で相手を殴ったり、真っ二つにされても平然とまたくっついたりとやりたい放題だ。しかも、当時はドット全盛期なので、今ではお目にかかれない華麗な2Dグラフィックでコミカルな表現を楽しむことができる。自分で動かしているのを見ても、性能面でもビジュアル面でもユニークな動きを楽しむことができるのだ。

システムとキャラクターの性能が上手く絡みあい、ヴァンパイアセイヴァー特有のゲーム性を作り出している。まさにアイデンティティを持ったゲームと言えるだろう。

用意するもの

- ・PS3もしくはXbox360本体
- ・ヴァンパイアリザレクション
- ・アーケードスティック（最低1台から）
- ・気合

プレイ環境は部室にもあるので、是非一度は触ってみよう。

練習すること

最近、「格ゲー」と聞いて「コンボとか覚えるのが難しそうだし」と言う声をよく聞くが、ご安心いただきたい。ヴァンパイアセイヴァーでは基本コンボは多くてもボタンを5回押すだけで済むという驚きの短さだ。お互い地上なら「小中大でコンボ終わり！」でも戦えてしまうという潔さ。筆者自身、メインキャラ以外は全キャラ共通のテンプレコンボとキャラ毎の有名なコンボを1つか2つしかできないが、適当にやってもコンボが面倒な一部のキャラ以外ではコンボで悩む事は無いと言っている程簡単だ。初めのうちは相手に近づいたらヒットしようがガードされようが、とりあえず小中大と入力しとけばいいだろう。慣れてきたら状況を確認して色々。

これでコンボは覚えたとしよう。次にこのゲームの最も特徴的なシステムであるアドバンシングガード（以下AG）について説明しよう。AGとは「ガード中に相手を遠くへ弾く」というシステムである。ガードできて相手はまとわりついてきて大変だなあ、という時にAGを発動すれば相手は一定距離だけ遠くへ弾かれて仕切りなおすことができるのだ。百聞は一見にしかずということで、実際に対戦を見ていただければ分かるだろう。発動条件は「ボタンの連打」。別に1つのボタンを連打する訳ではなく、複数のボタンをずらすように順番に連打してもよい。ここで少々練習が必要になるが、野球の素振りのようなものである。詳細については後述させていただくが、これが大体できるようになったらひとまず何とかなるだろう。正直、これを思い通りに出せる初心者には滅多にいないし、できなくてもゲーム自体を楽しむのに支障はないので、AGが無理だからと諦めないで欲しい。

あとはキャラ固有のテクニックやらガードとかその辺の攻防について覚えればいいだろう。これらも基本だけならそこまで難易度は高くない。あとは対戦を繰り返して「あーでもないこーでもない」と試行錯誤を繰り返して細かい知識を身につければよい。流石に強い人にいきなり勝つのは無理だが、まず覚えるべき事は少なく、難易度も高くない。

AGについて

このゲームのAG（アドバンシングガード）は特殊なので項目を設けて説明しよう。何故AGが大切かは、厳密には色々あるのだが、簡単に言えば「相手の攻めを終わらせやすくする」である。実際にやれば簡単に理解できるため、これ以上の言及はしない。

AGの条件は「ガードしてから10F以内に3つ以上のボタンを押す（同時押し不可）」である。なお、1F=1/60秒。「ガードしてから10F」なので、ガードを見てから入力しても間に合わないのが、「多分この辺で相手の攻撃をガードできるだろうな」という予想しつつ入れ込んでおくと、1発で成功させるのは難しいので最初は狙わなくてよい。基本的に相手の攻撃をガードしたのを見てから入力すれば、相手の2撃目や3撃目で発動してくれる。

「3つ以上」という条件についてだが、ボタンをいくつ連打できたかでAGの発動率が変化する。3回→4回→5回→6回と押していくにつれて発動率は25%→50%→75%→100%と上昇していく。4回押すだけでもどこかしらでAGが出る確率は62.5%（読者の皆なら確率計算できるよね?）になるので、まずは4つボタンを押せるようにするのを目標にするといいと思う。人間の指は基本的に5本あるのでなんとかかなるだろう。

入力方法は人によって色々あるが、大体「順押し」と「コスリ」に分類できる。順押しはピアノのように順番にボタンを押す。コスリは爪、指、手の平等を用いてボタンを擦るように押す（手全体をスライドさせる感じ）。押す順番を工夫したり、手を往復させてボタンを押す数を稼いだりとアレンジが加えられる場合もある。どちらが優れているかは人によるのでやりやすい方でよい。

練習方法は「ヴァンパイアリザレクション」を持っている場合を仮定する。まず、トレーニングモードに入る。相手キャラは飛び道具を持つキャラにしよう。人気があるのはソウルフィストを持つモリガンやディオ＝セーガを持つジェグあたりか。ソウルフィストはガードのタイミングが分かりやすく、セーガは持続があるのでAGしやすいイメージ。これらの技をレコーディングモードで記録→再生とやれば、相手キャラが射撃を撃って来てくれる。この弾に対してAGを入力して練習すればよい。スロットのリールを揃える感じでフライング気味にボタンを押すと気持ち出やすい。

初心者への道

以上を踏まえて「ヴァンパイアセイヴァーを始めたばかりの人は何をやればいいのか？」について。ついにヴァンパイアリザレクションが発売したので、こっちから入る前提で。でもいきなりゲーセンデビューしてもいいのよ？

1, 上記の「用意するもの」を買う

ゲームハード本体やアケステを既に持っている人は買わなくてもよい。このゲームは6ボタンなので、純正コントローラーではなく、アケステを買った方がいい。アケステについて詳しくないのなら、親切な先輩に聞けばきっと教えてくれるはず。あわよくば貸してくれるかも。

2, キャラを選ぶ

CPU戦を軽くやるなり攻略wikiを見るなり見た目で決めるなり個人の自由で。ただし、アナカリスというファラオっぽいキャラだけはこのゲームの肝であるAGが使えないので個人的には勧めない。参考までに、外見が人間から離れているキャラは初心者向けが多い気がする。

3, トレーニングモードとCPU戦を往復

練習とかいいから実戦にいきたい！という人は飛ばしてもよい。キャラにもよるが、前ジャンプ→着地際に適当な攻撃(主に大攻撃)→しゃがみ小キック→しゃがみ中パンチ(orキック)→しゃがみ大キックのコンボと先述したAGが稀に決まる程度でもできれば初心者でいいかと。キャラ固有のテクニックやコンボは自分で調べてもいいが、錦糸町民という人に聞くと喜んで教えてくれたりする。

3.5, オフライン対戦

周りにプレイヤーがいるのなら、オフラインで対戦してみるといいだろう。同じくらいの人と対戦するのはいい経験になるし、強い人からアドバイスを貰うもの良い。我々にはゲーム研究会という素晴らしい環境があるので是非活用されたし。

4, ネット対戦へ

ネット対戦の下準備としてマッチング設定でGGPOデレイ値を0に変更した方がよい。また無線LANは避けた方が無難。準備ができたらいざ戦場へ。各人のスコアに応じて同じ位の実力の人と対戦できるランクマッチという便利な機能があるので是非使ってみよう。まだ発売から日が浅いので色々な強さの人がいるからチャンス。ちなみに、知り合いと対戦したいのならプレイヤーマッチを利用すればよい。最初の内は勝てないと思うが諦めない。私も始めた頃はボロ雑巾にされてたし、当時はゲーセンで対戦するしかなかったので大変だった。

5, ゲームセンターへ

更なる高みを目指したくなったらゲームセンターへ！他のプレイヤーと空間を共有して対戦するのはオンラインでは味わえないゲーセンの醍醐味である。大抵のプレイヤーは質問すると快く答えてくれるので交流を深めるのも手。俺たちの戦いはまだまだこれからだ！

自分で情報を調べたい人へ

このゲームは現役勢が非常に頑張っていることもあって、ネット上に大量の情報が転がっている。情報化社会とはいいい時代になったものだ。某検索エンジンで「ヴァンパイアセイヴァー」と検索すれば上から2番目に攻略wikiが出てくるし、某動画共有サイトにもガチ勢達による対戦動画はもちろんのこと、初心者向け講習動画や配信も沢山存在する。この記事を読んで「それで、結局どういうゲームなの？」と興味があるなら見てみるといいかもしれない。

最後に

やればやるほどその魅力に引き込まれること間違いなし。攻めも守りもどちらも強い。ガードを固めている相手を無理矢理崩したり、かと思えば気合でガードしてAGで攻めを凌いだりといつでも、どんな時でも熱い駆け引きを楽しむことができる。15年も愛され続けただけに、その面白さは保証しよう。興味のある方は私、錦糸町民こと小林の所まで是非いらしていただきたい。百聞は一見にしかず、ということでプレイ動画を見てみるのもオススメだ。